

全国中小企業動向調査結果

(2023年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲26.3となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲3.6となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲24.3となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲26.3 (+1.7)	▲3.6 (+8.0)	▲24.3 (-2.4)	▲25.7 (-1.8)	▲17.6 (+0.6)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から上昇し、8.2となった。
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、20.0となった。
来期以降は低下する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲9.6となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
8.2 (+3.7)	20.0 (+2.0)	▲9.6 (+3.6)	▲1.4 (+0.3)	4.5 (-0.4)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口(修)、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー※資料編につきましても、[こちら](#)をご覧ください。

目次

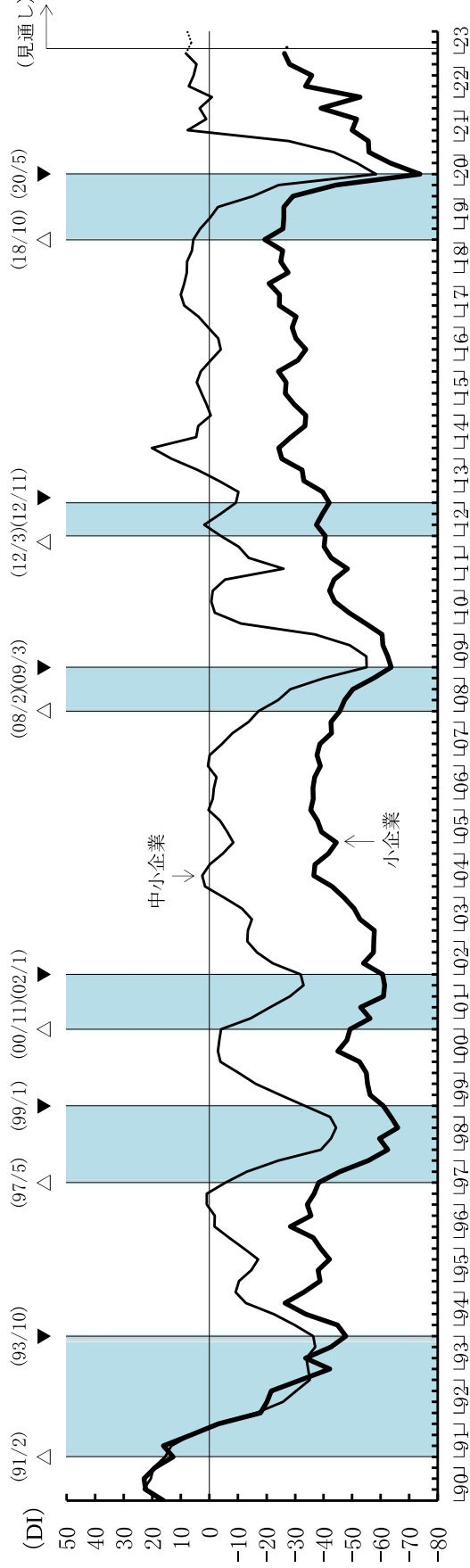
調査結果の概要	1
【小企業編】	
概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14
【中小企業編】	
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

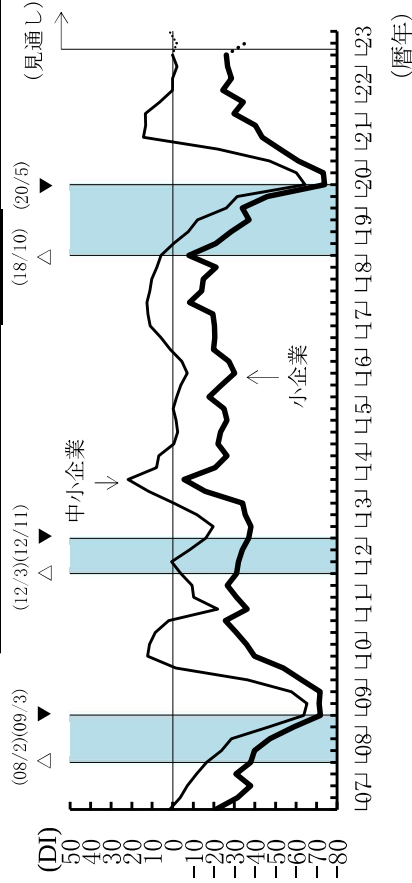
①全業種計

	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	▲ 27.8	7.6	1.1	3.4	▲ 0.9	7.2	5.5	4.5	8.2	見通し	見通し
小企業	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 51.6	▲ 39.1	▲ 52.8	▲ 33.6	▲ 35.8	▲ 28.0	▲ 26.3	▲ 27.9	-



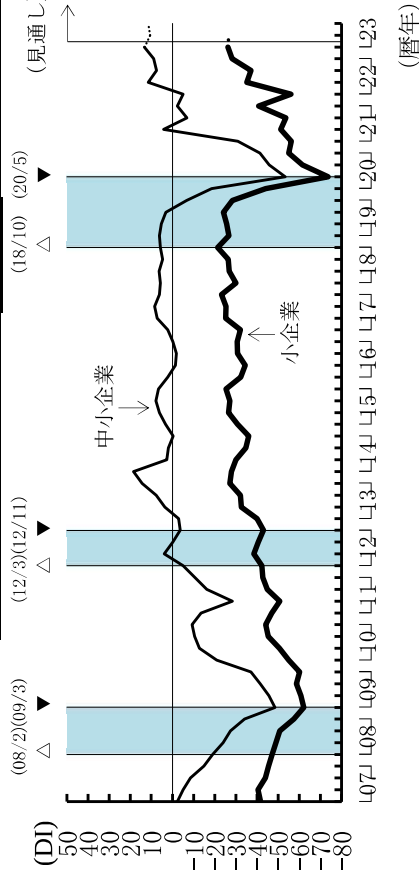
②製造業

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	0.1	▲ 2.2	0.1	▲ 1.9	1.7
小企業	▲ 28.6	▲ 26.8	▲ 26.1	▲ 35.4	-



③非製造業

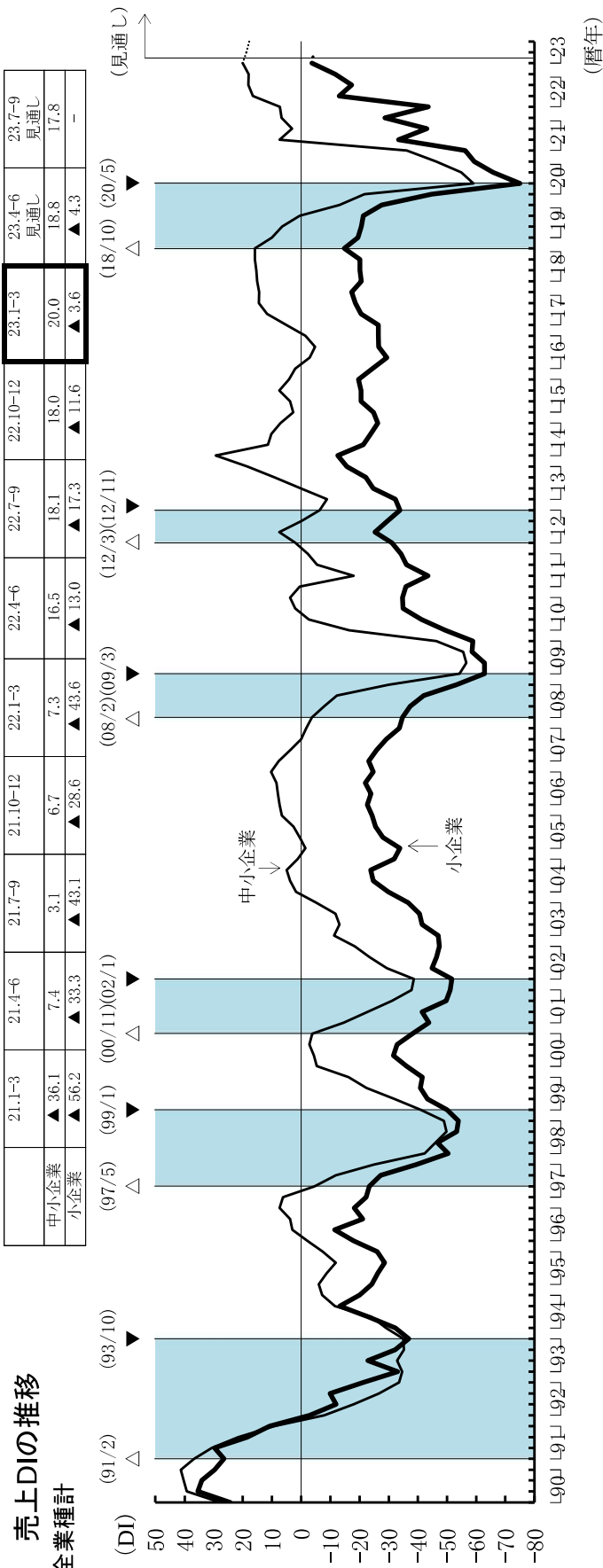
	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	7.5	8.9	13.2	10.6	11.5
小企業	▲ 37.1	▲ 28.3	▲ 26.3	▲ 26.5	-



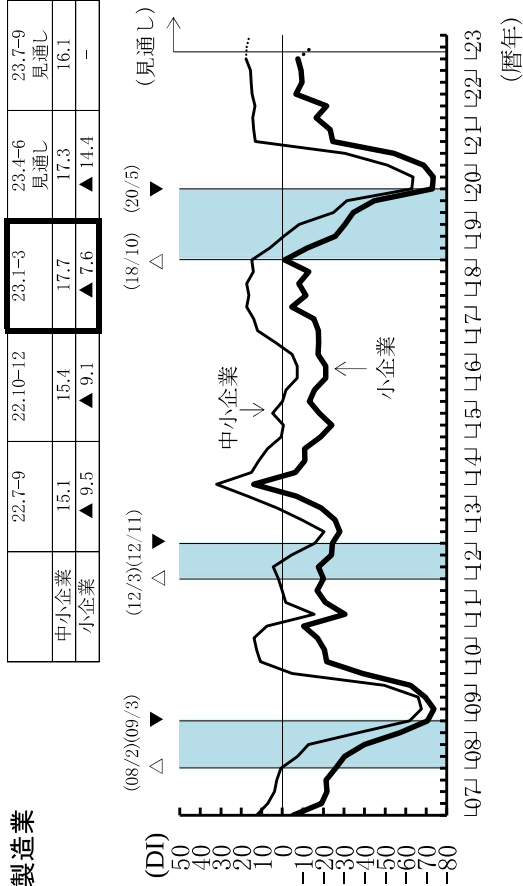
- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

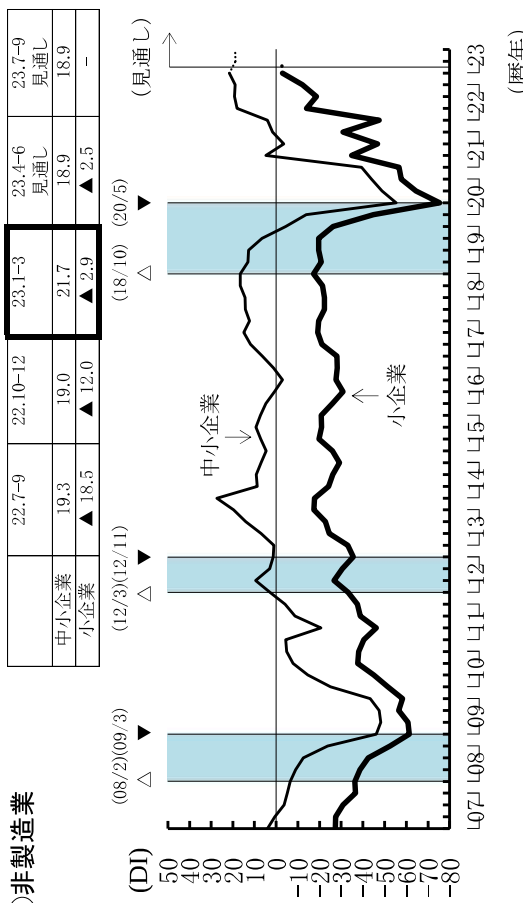
①全業種計



②製造業



③非製造業



(注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2023年1－3月期実績、4－6月期見通し)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、
持ち直しの動きがみられる

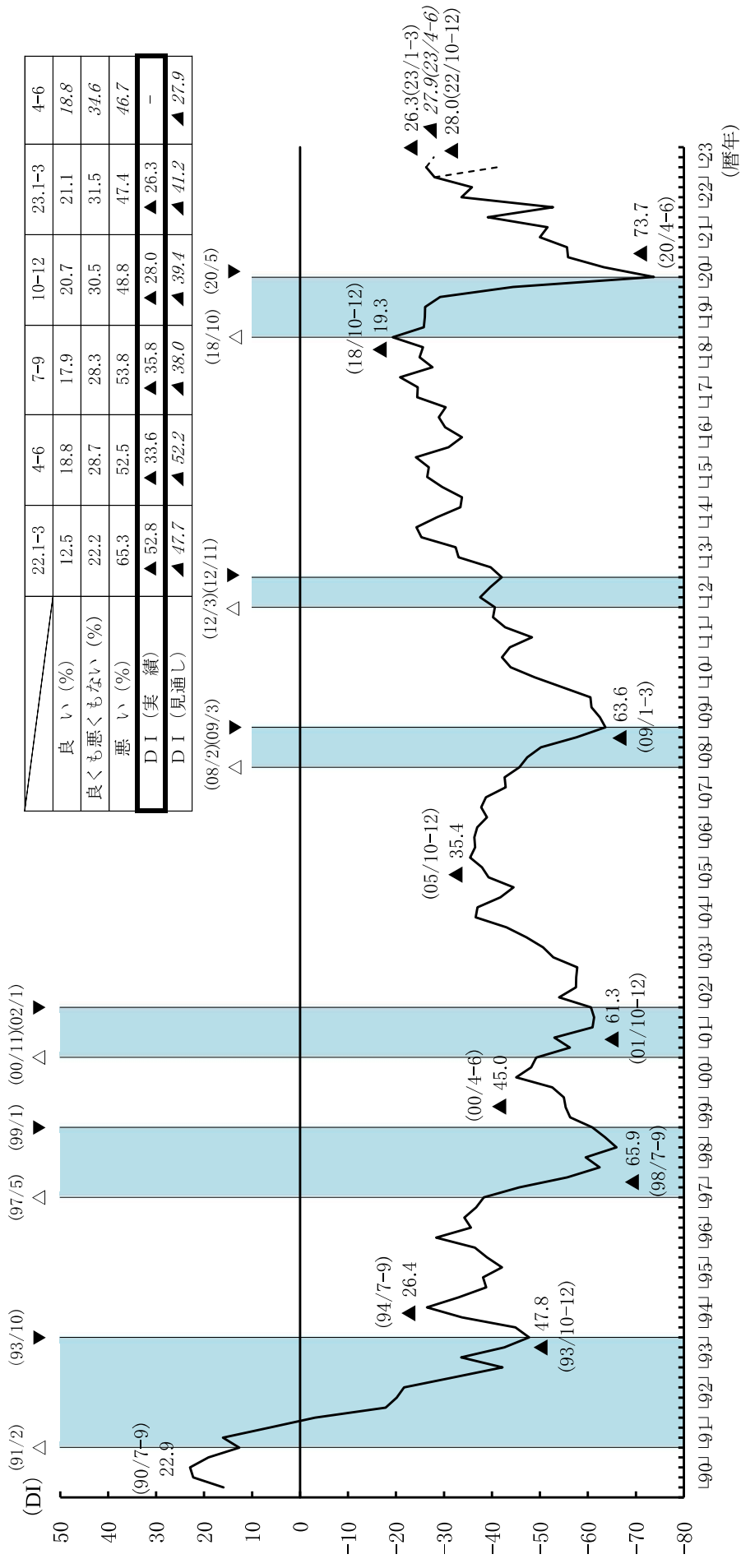
[調査の実施要領]

調査時点	2023年3月中旬
調査対象	当公庫取引先 10,000 企業
有効回答数	5,998 企業 [回答率 60.0 %]
<p>＜業種構成＞</p>	
製造業	(従業者20人未満) 1,500 企業 (構成比 15.1 %)
卸売業	(同 10人未満) 800 企業 (同 10.1 %)
小売業	(同 10人未満) 2,450 企業 (同 22.8 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満) 1,800 企業 (同 14.8 %)
サービス業	(同 20人未満) 2,000 企業 (同 21.2 %)
情報通信業	(同 20人未満) 160 企業 (同 1.2 %)
建設業	(同 20人未満) 1,100 企業 (同 12.3 %)
運輸業	(同 20人未満) 190 企業 (同 2.5 %)
(参考)	
	法人 3,996 企業 (構成比 66.6 %)
	個人 2,002 企業 (同 33.4 %)
	有効回答数 905 企業 (構成比 15.1 %)
	607 企業 (同 10.1 %)
	1,370 企業 (同 22.8 %)
	888 企業 (同 14.8 %)
	1,270 企業 (同 21.2 %)
	70 企業 (同 1.2 %)
	736 企業 (同 12.3 %)
	152 企業 (同 2.5 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2022年10－12月期）からマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲26.3となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲27.9となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）



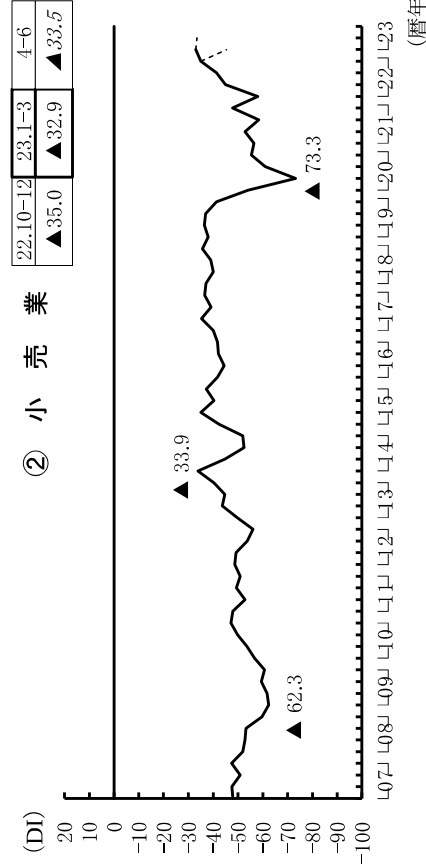
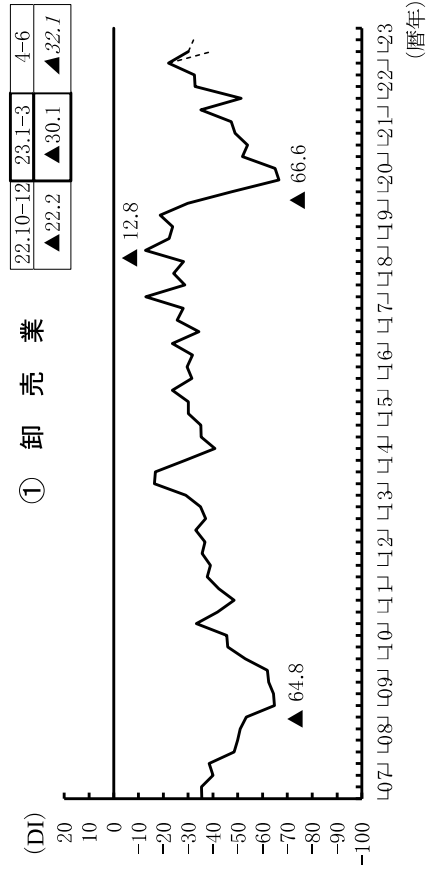
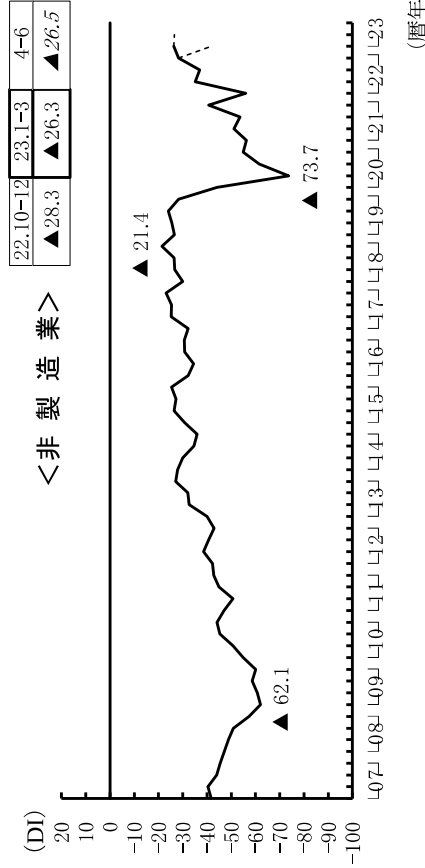
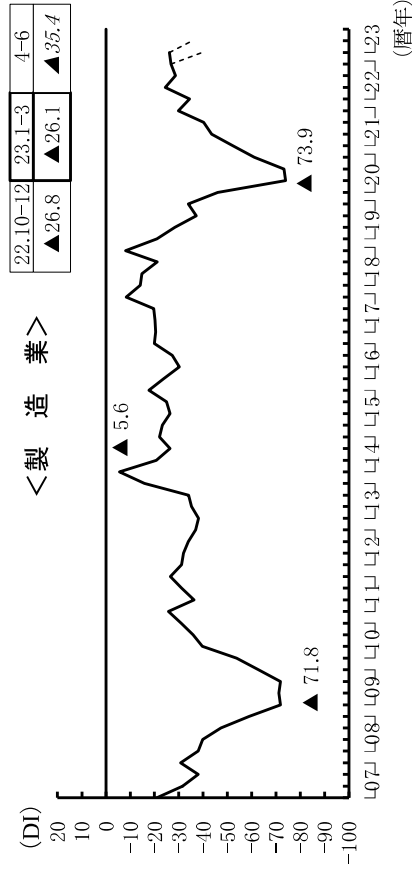
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

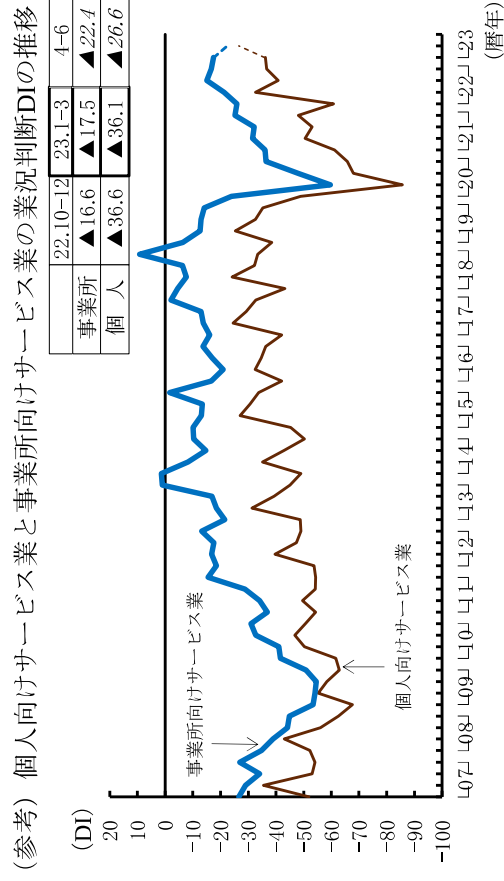
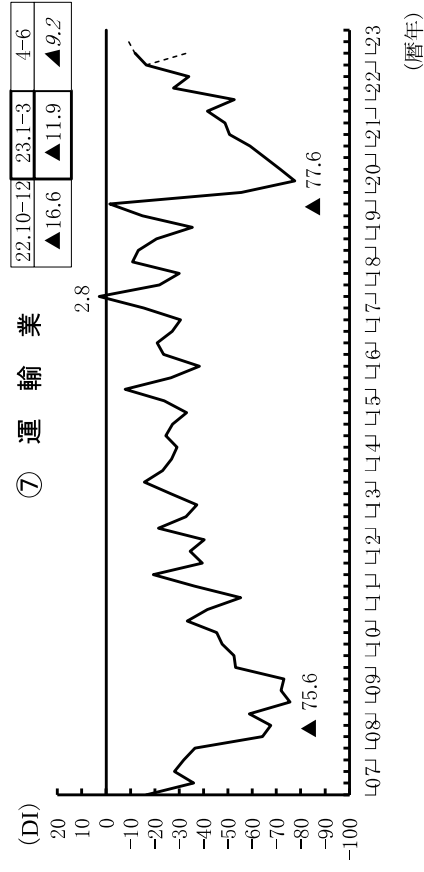
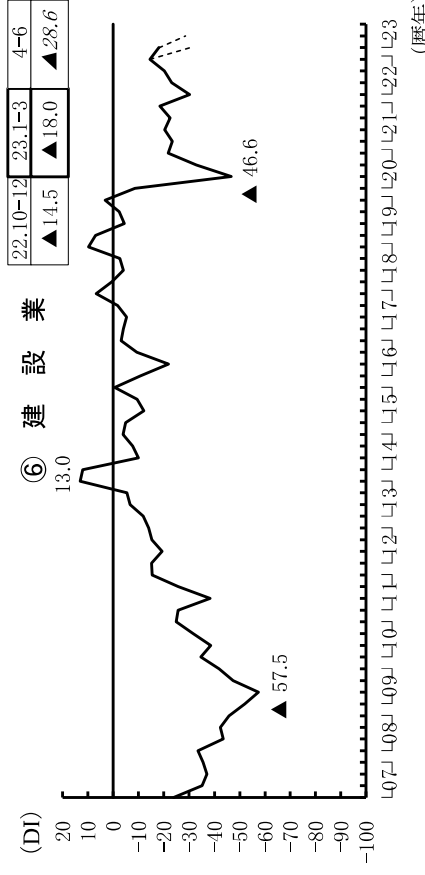
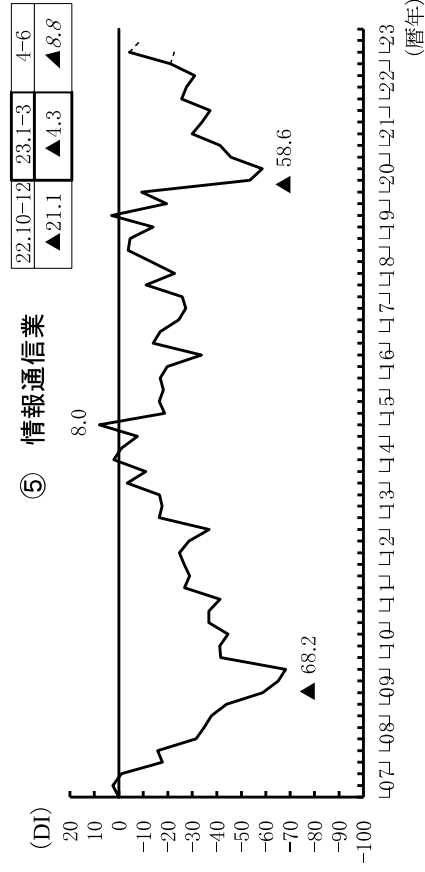
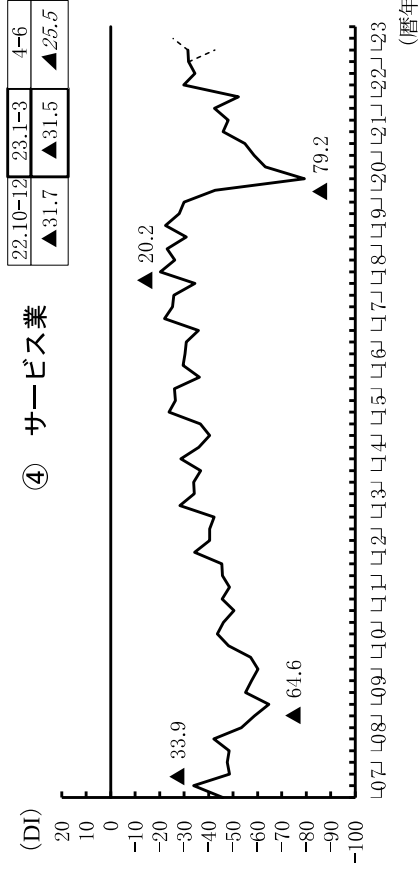
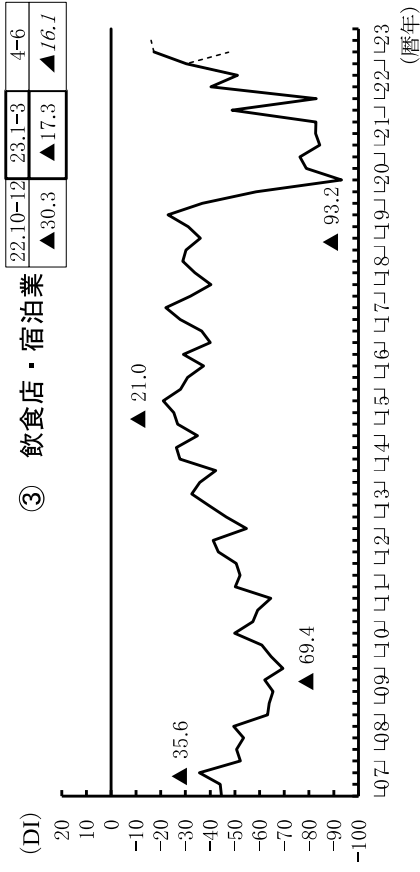
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲26.1）、非製造業（▲26.3）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業と建設業を除くすべての業種でマイナス幅が縮小した。

○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

図一 2 業種別業況判断DIの推移

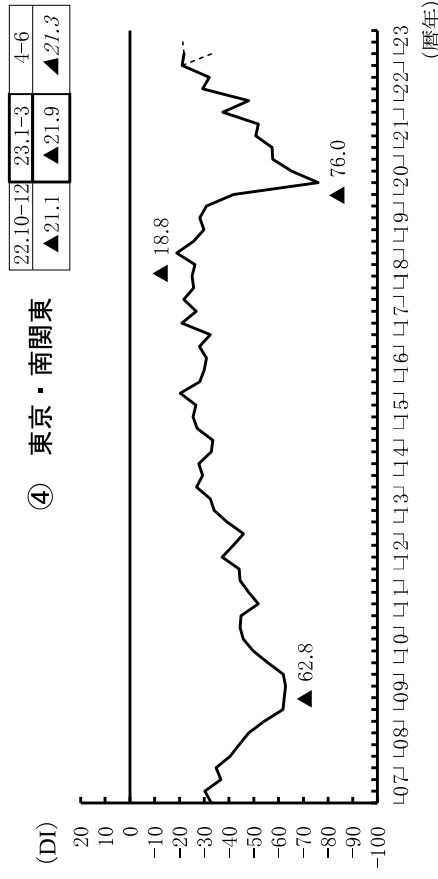
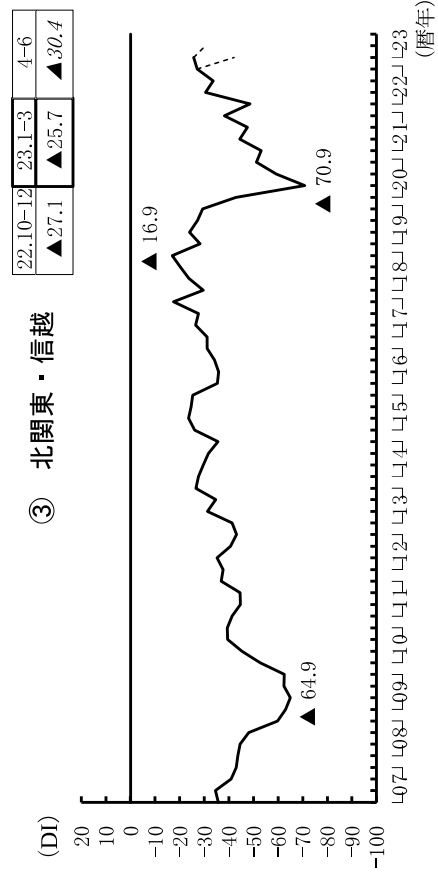
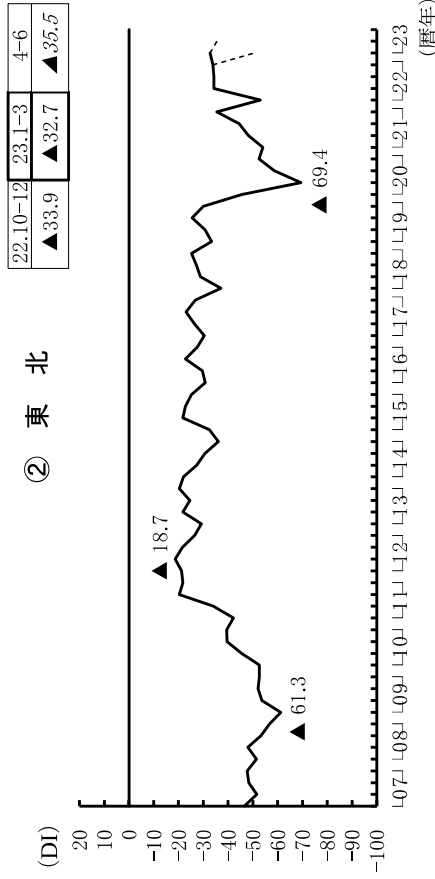
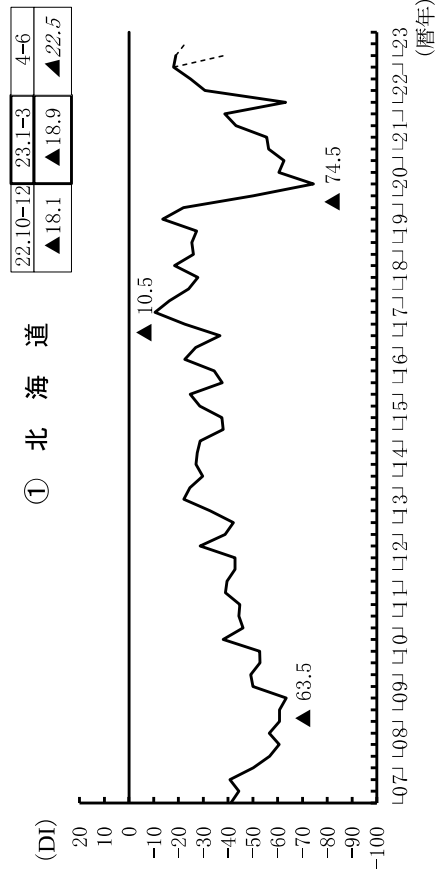


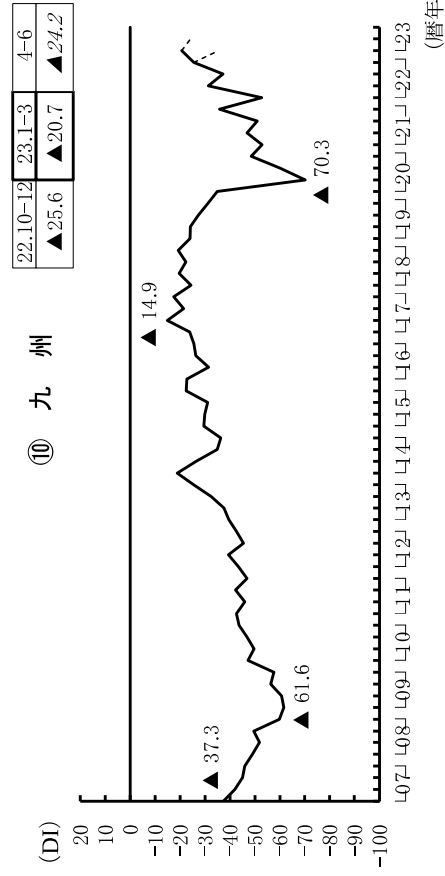
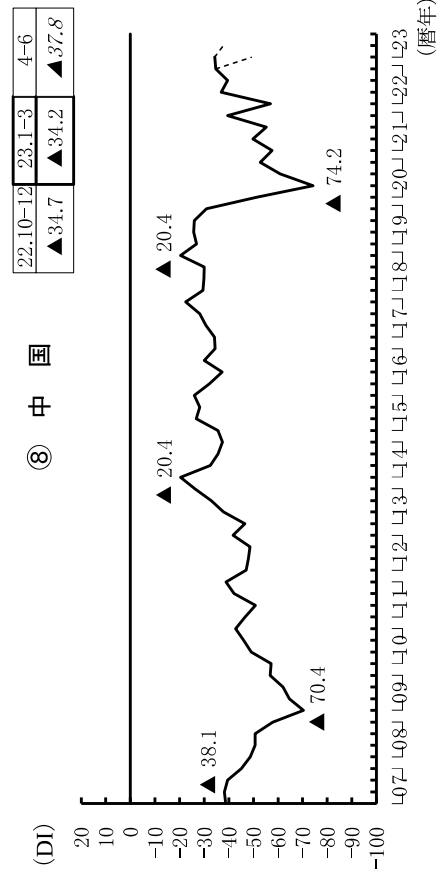
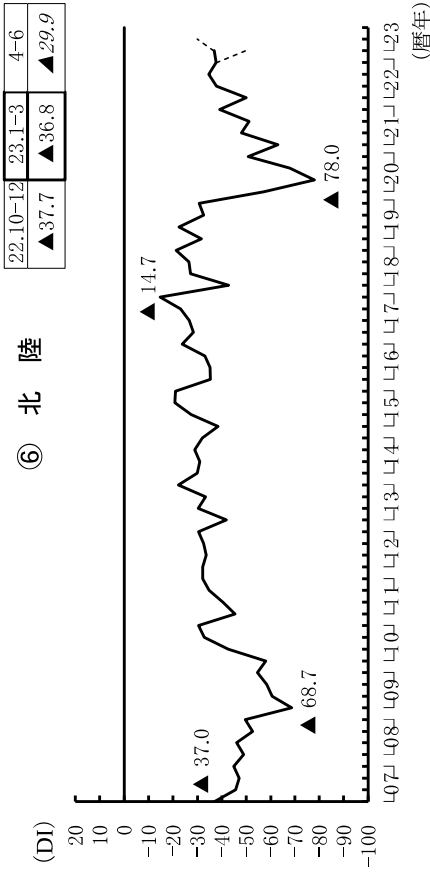
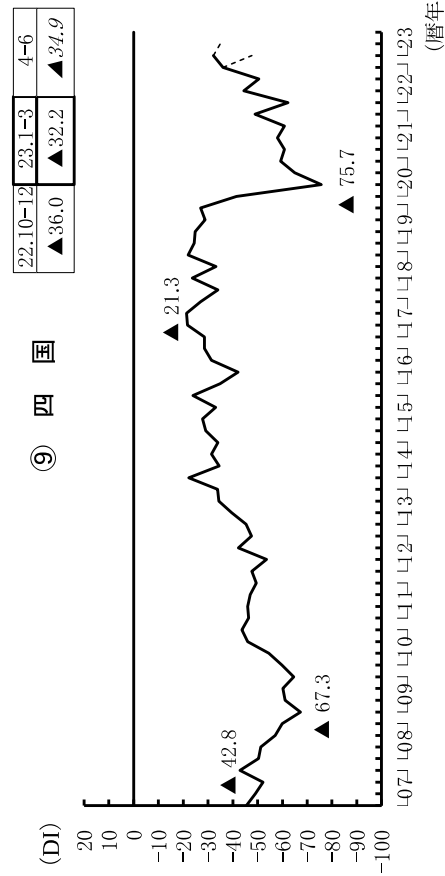
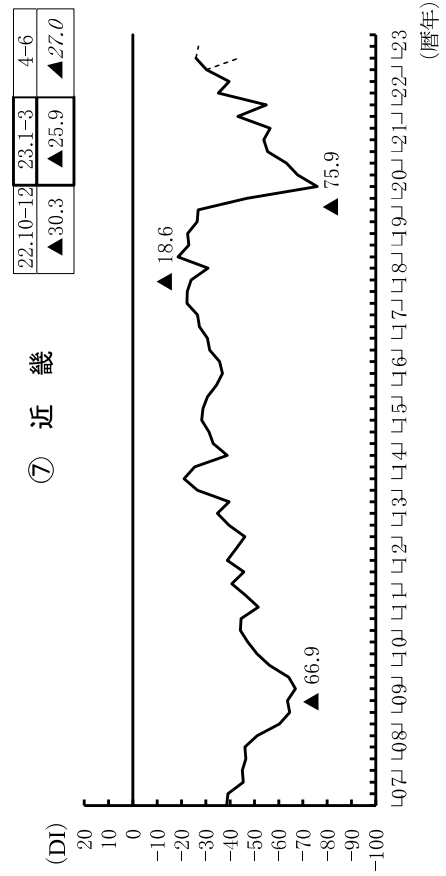
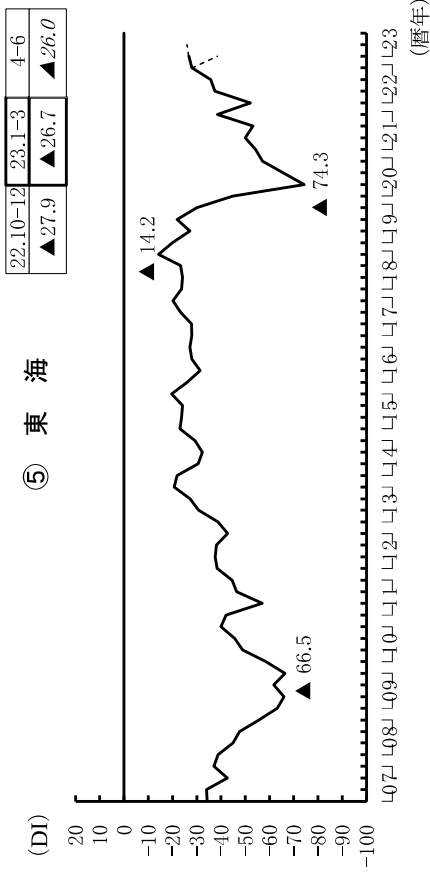


○ 業況判断DIを地域別にみると、北海道と東京・南関東を除くすべての地域でマイナス幅が縮小した。

○ 来期は、東京・南関東と東海、北陸を除くすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図一3 地域別業況判断DIの推移



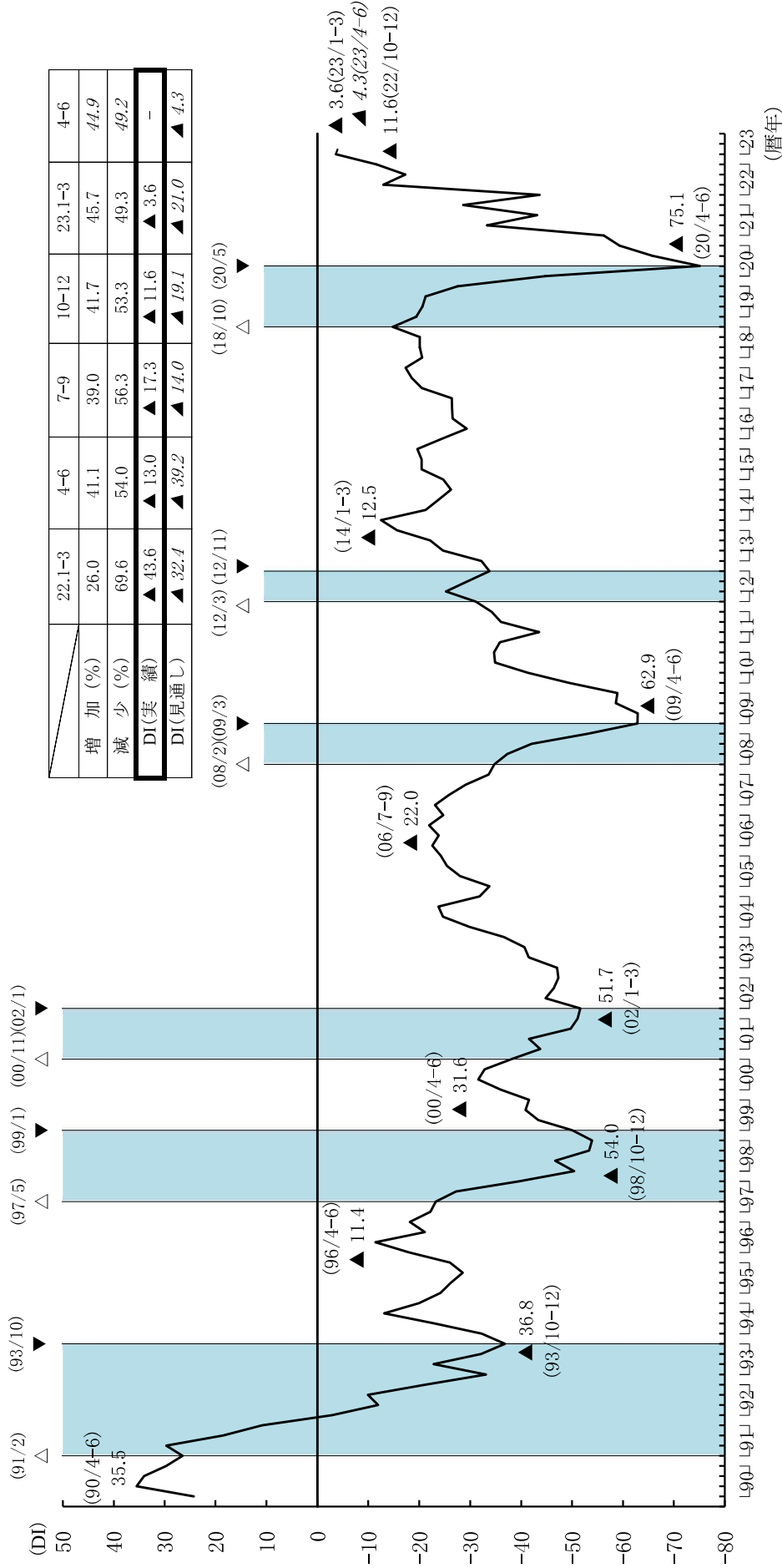


2 売上

○ 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が8.0ポイント縮小し、▲3.6となった。

○ 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-4 売上DIの推移 (全業種計)



(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

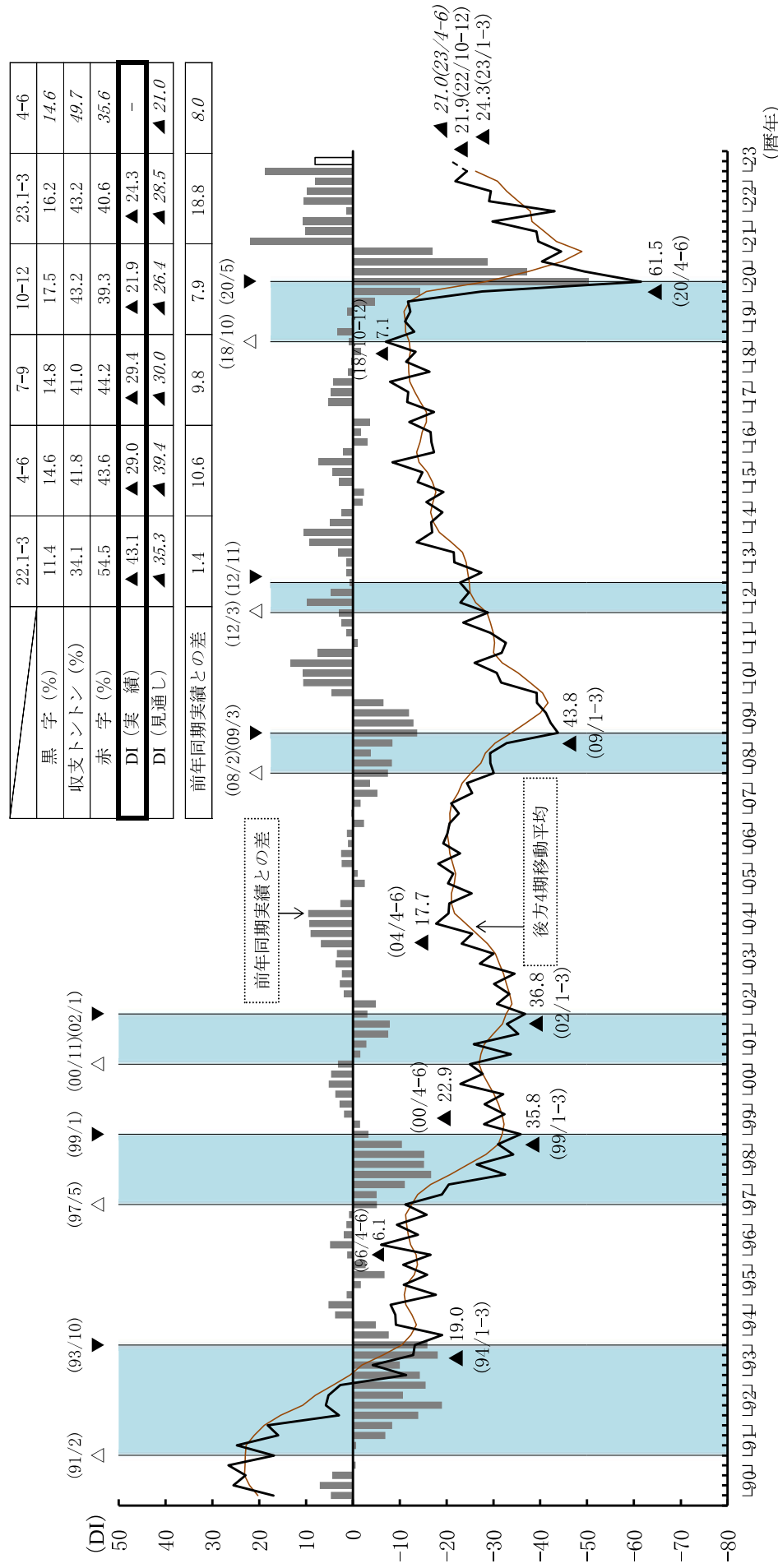
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

○ 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が2.4ポイント拡大し、▲24.3となった。

○ 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-5 採算DIの推移 (全業種計)

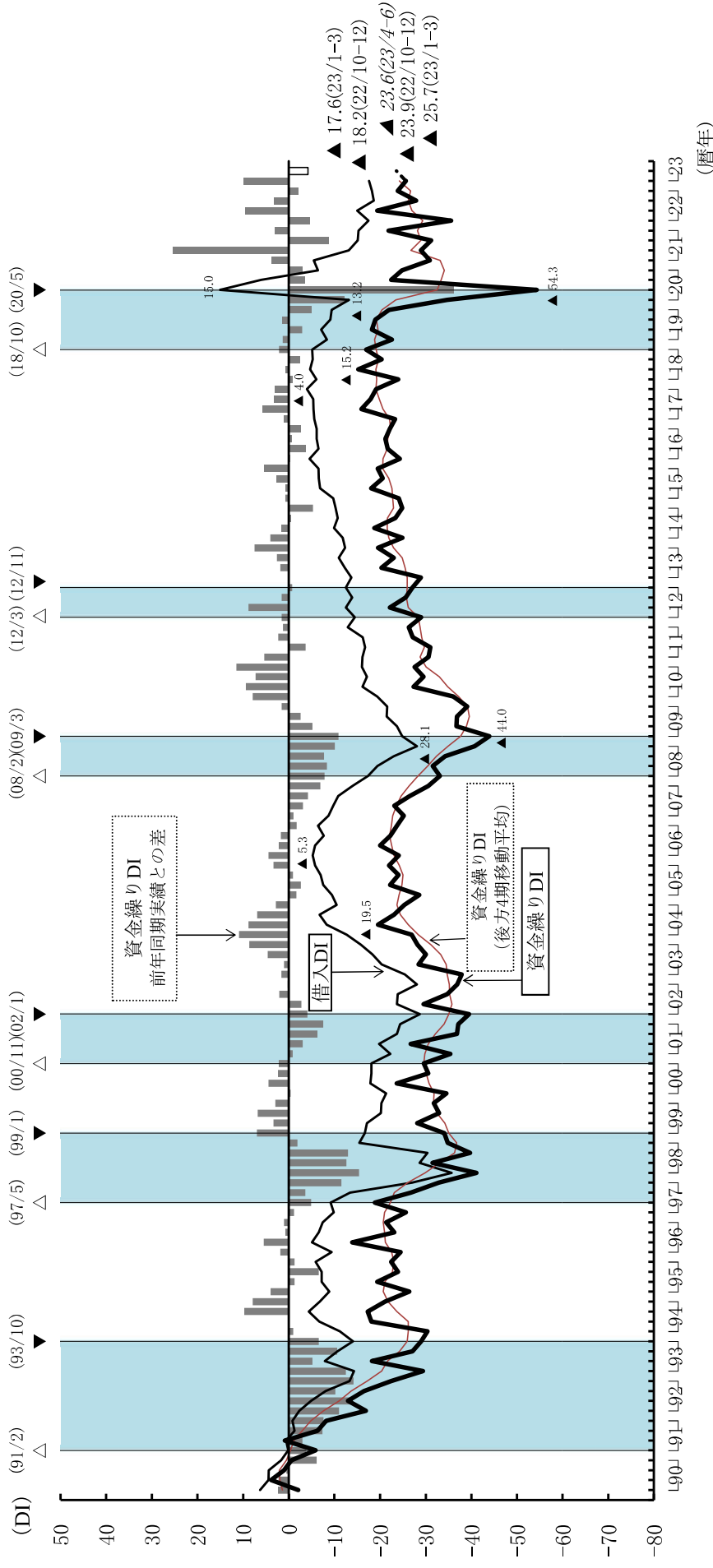


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が1.8ポイント拡大し、▲25.7となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が0.6ポイント縮小し、▲17.6となった。

図一六 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

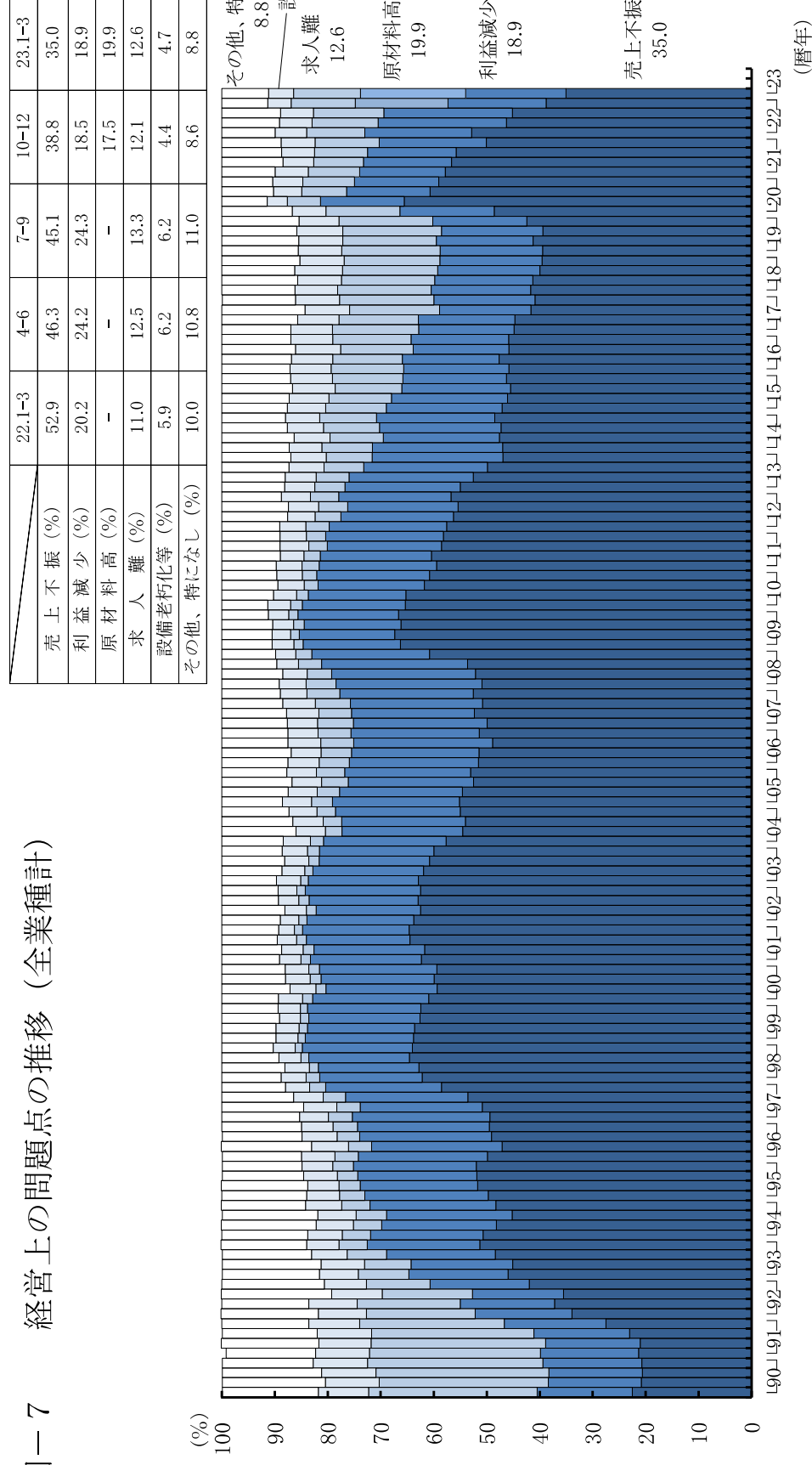


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、-----は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.0%と最も多く、次いで、「原材料高」（19.9%）、「利益減少」（18.9%）の順となっている。

図一 7 経営上の問題点の推移（全業種計）

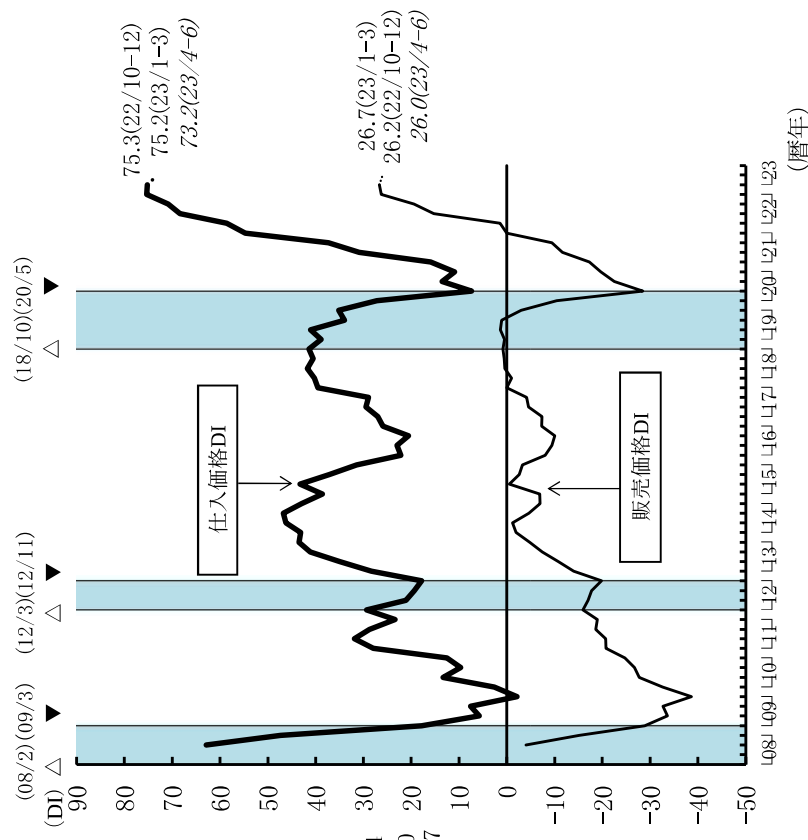
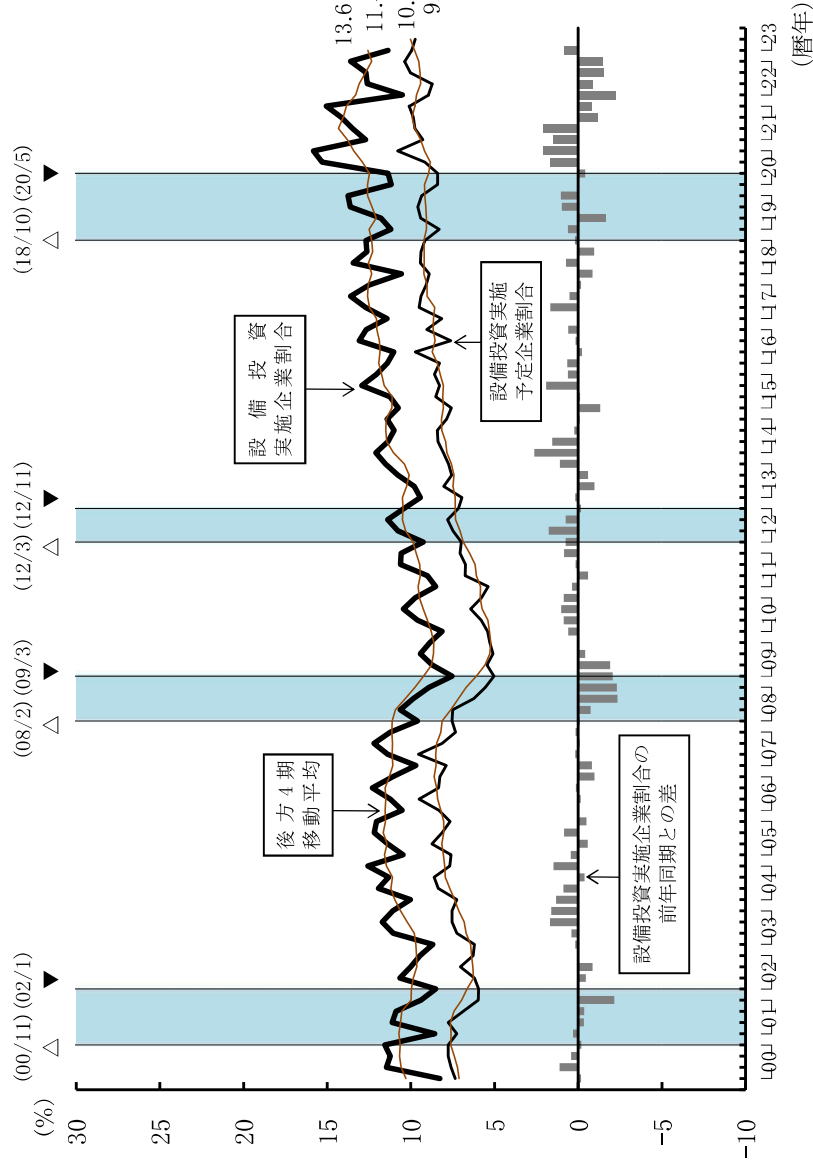


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.2ポイント低下し、11.4%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、0.5ポイント上昇し、26.7となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、ほぼ横ばいで推移し、75.2となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2023年1－3月期実績、2023年4－6月期および7－9月期見通し)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、
持ち直しの動きがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2023年3月中旬
 調査対象 当公庫取引先 (原則従業員20人以上) 12,950社
 有効回答数 5,123社 [回答率39.6%]

<業種構成>

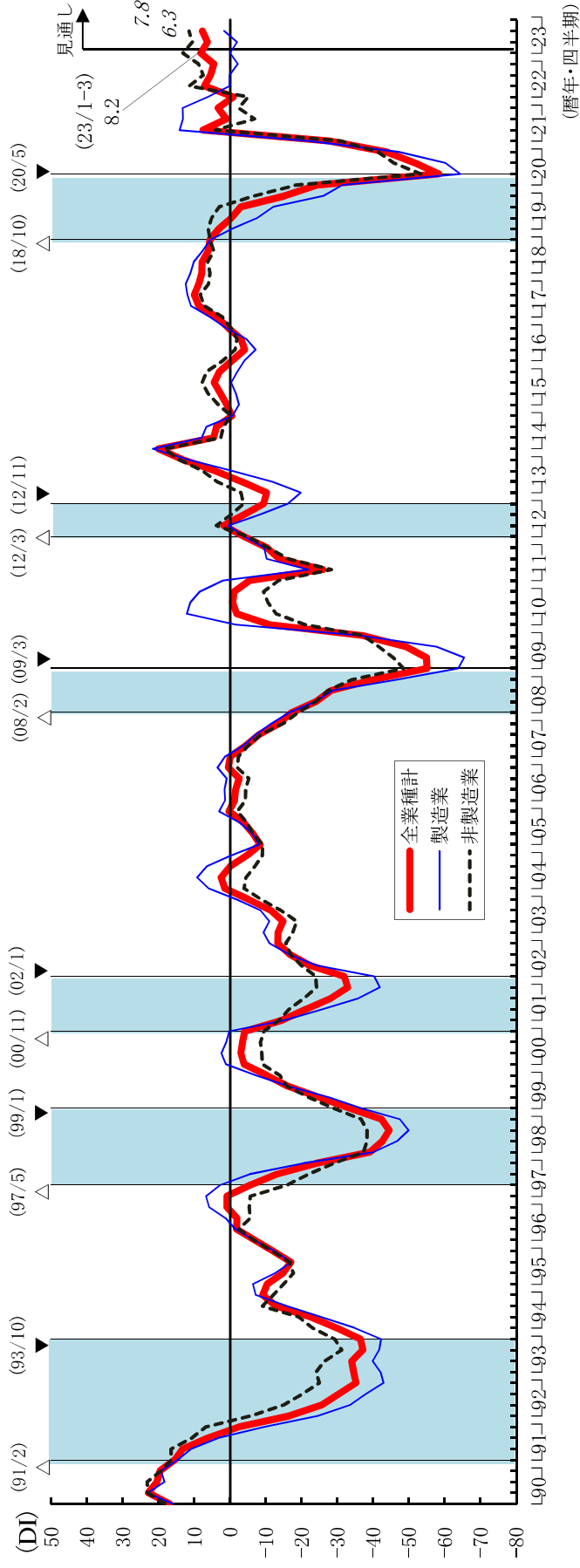
業種	調査対象数	有効回答数	(構成比)
製造業	4,430社	1,873社	36.6%
鉱業	14社	8社	0.2%
建設業	1,229社	502社	9.8%
運送業(除水運)	819社	354社	6.9%
水運業	129社	53社	1.0%
倉庫業	57社	23社	0.4%
情報通信業	365社	126社	2.5%
ガス供給業	6社	3社	0.1%
不動産業	717社	265社	5.2%
宿泊・飲食サービス業	739社	214社	4.2%
卸売業	1,841社	747社	14.6%
小売業	1,033社	384社	7.5%
サービス業	1,571社	571社	11.1%

1 業況判断

- 今期（2023年1-3月期）の業況判断DIは、前期（2022年10-12月期）から3.7ポイント上昇し、8.2となった。
- 来期（2023年4-6月期）は6.3と低下し、来々期（2023年7-9月期）は7.8となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9
業況判断DI（季節調整値）	▲ 0.9	7.2	5.5	4.5	8.2	6.3	7.8
製造業	6.2	0.1	0.1	▲ 2.2	0.1	▲ 1.9	1.7
非製造業	▲ 5.1	11.5	7.5	8.9	13.2	10.6	11.5

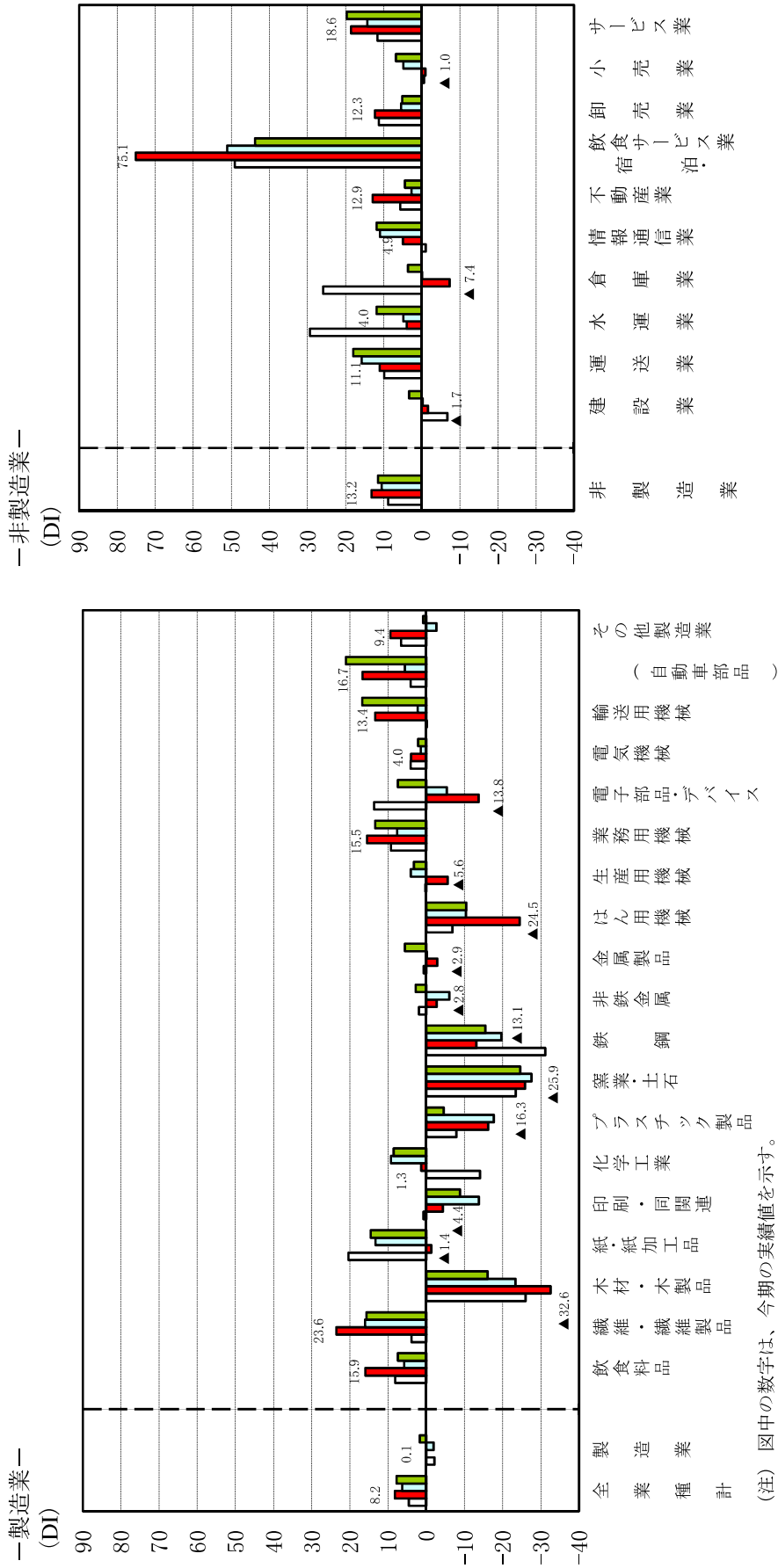
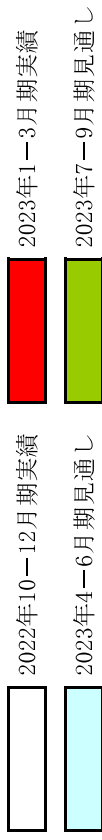


(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

○ 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、繊維・織維製品、鉄鋼、化学工業等が上昇した。一方、電子部品・デバイス紙・紙加工品等は低下した。

○ 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、不動産業、サービス業等が上昇した。

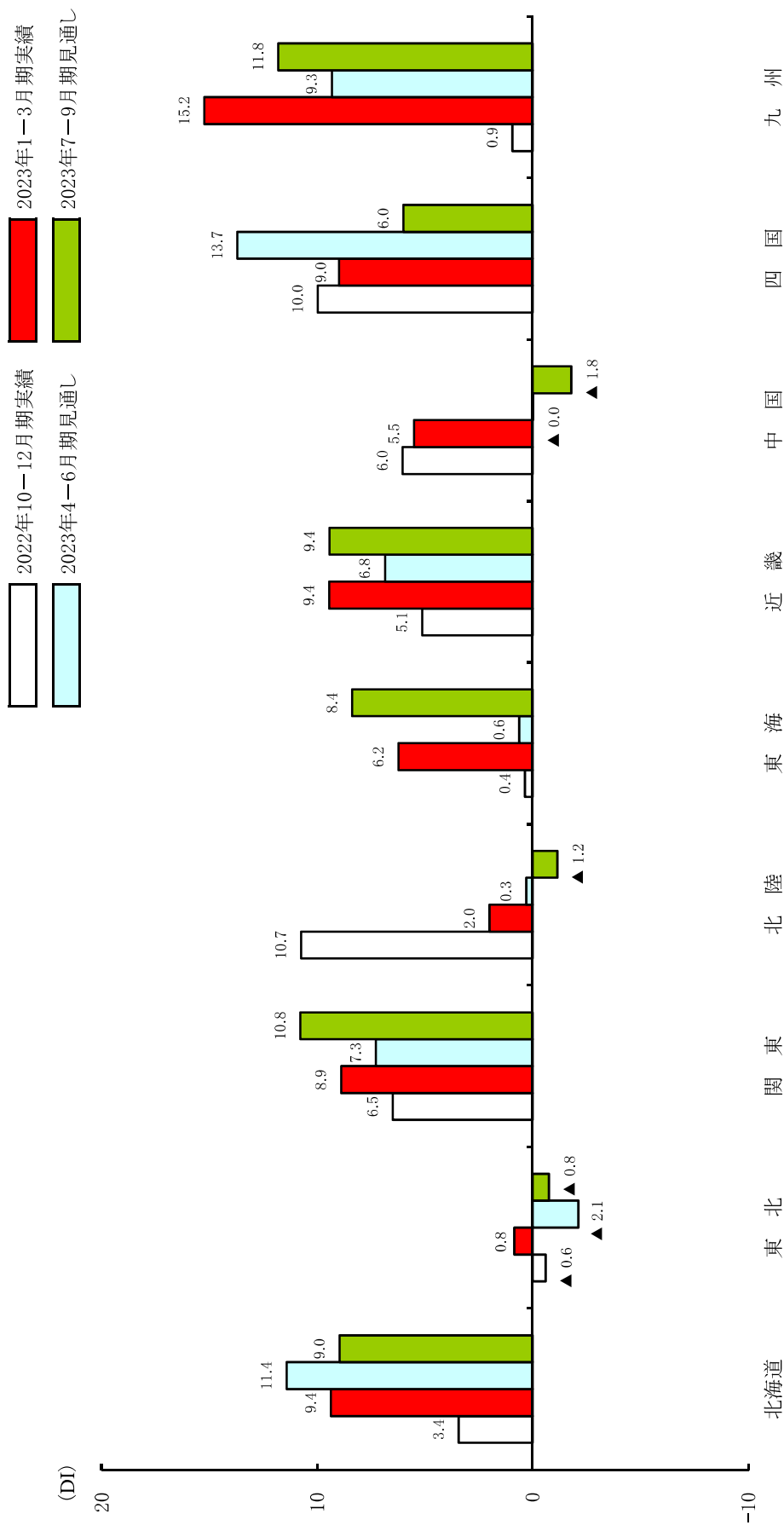
図-2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域で上昇した。
- 来期は、北海道、四国の2地域で上昇する見通しである。

図-3 地域別業況判断DI (季節調整値)

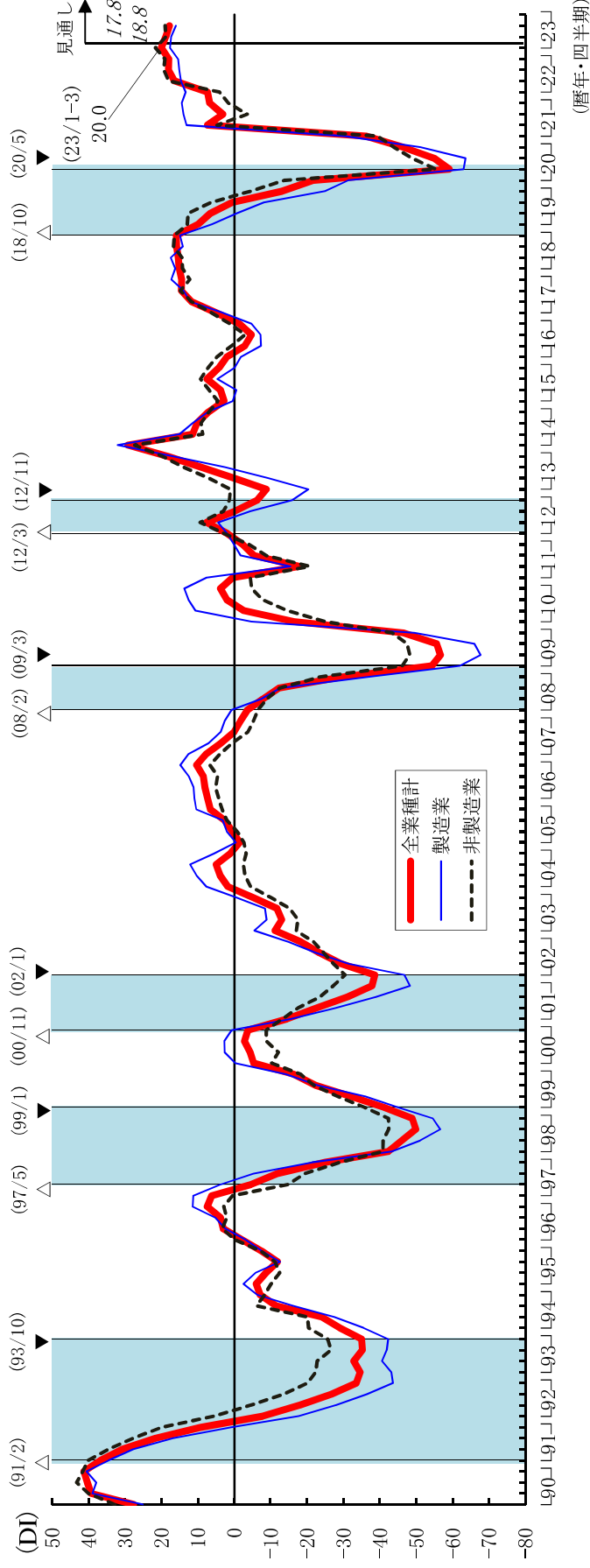


2 売上

- 今期の売上DIは、前期から2.0ポイント上昇し、20.0となった。
- 来期は18.8と低下し、来々期は17.8となる見通しである。

図-4 売上DIの推移 (季節調整値)

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3 (前回見通し)	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9
売上DI (季節調整値)	7.3	16.5	18.1	18.0	20.0 (17.7)	18.8 (16.7)	17.8
製造業	13.3	14.6	15.1	15.4	17.7 (15.1)	17.3 (13.8)	16.1
非製造業	4.0	18.0	19.3	19.0	21.7 (19.1)	18.9 (17.9)	18.9



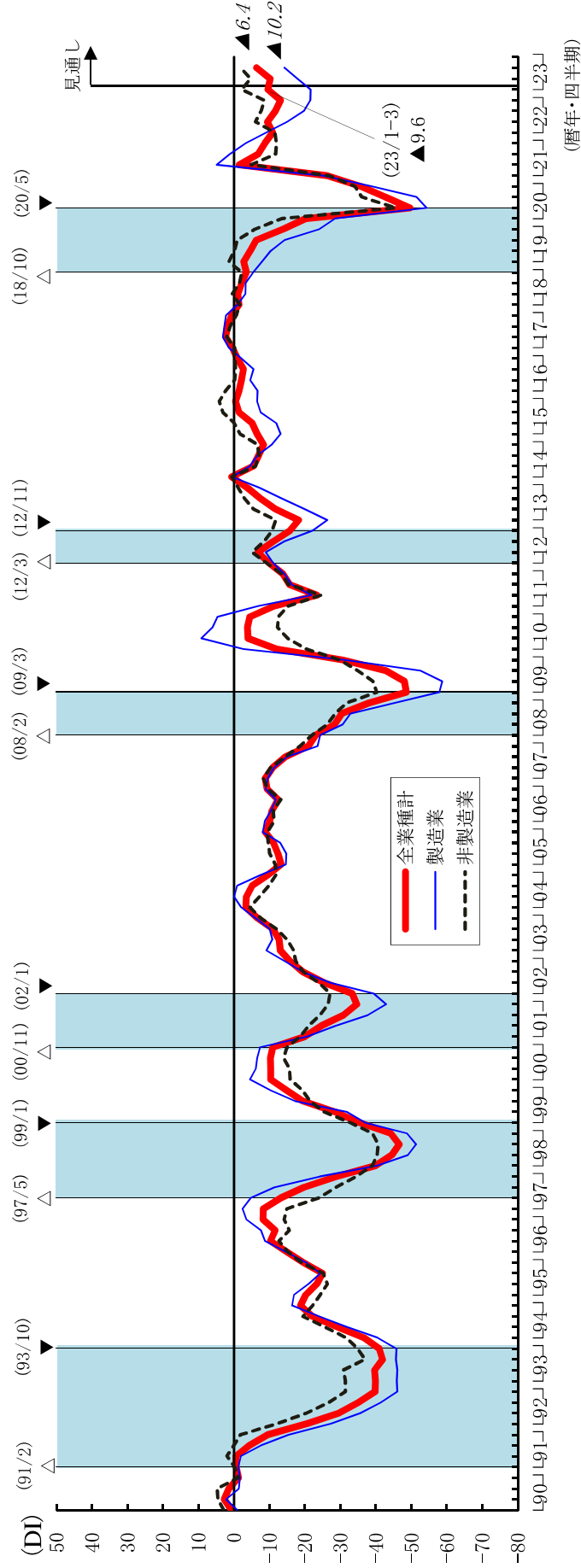
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が3.6ポイント縮小し、▲9.6となった。
- 来期は▲10.2とマイナス幅が拡大し、来々期は▲6.4となる見通しである。

図-5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3 (前回見通し)	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 10.9	▲ 9.4	▲ 11.7	▲ 13.2	▲ 9.6 (▲ 10.1)	▲ 10.2 (▲ 8.9)	▲ 6.4
製造業	▲ 9.1	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 21.5	▲ 21.6 (▲ 15.8)	▲ 17.8 (▲ 12.9)	▲ 14.2
非製造業	▲ 11.6	▲ 6.1	▲ 7.7	▲ 8.5	▲ 2.2 (▲ 7.7)	▲ 4.7 (▲ 6.6)	▲ 1.9



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。

2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

(暦年・四半期)

4 価格、金融関連

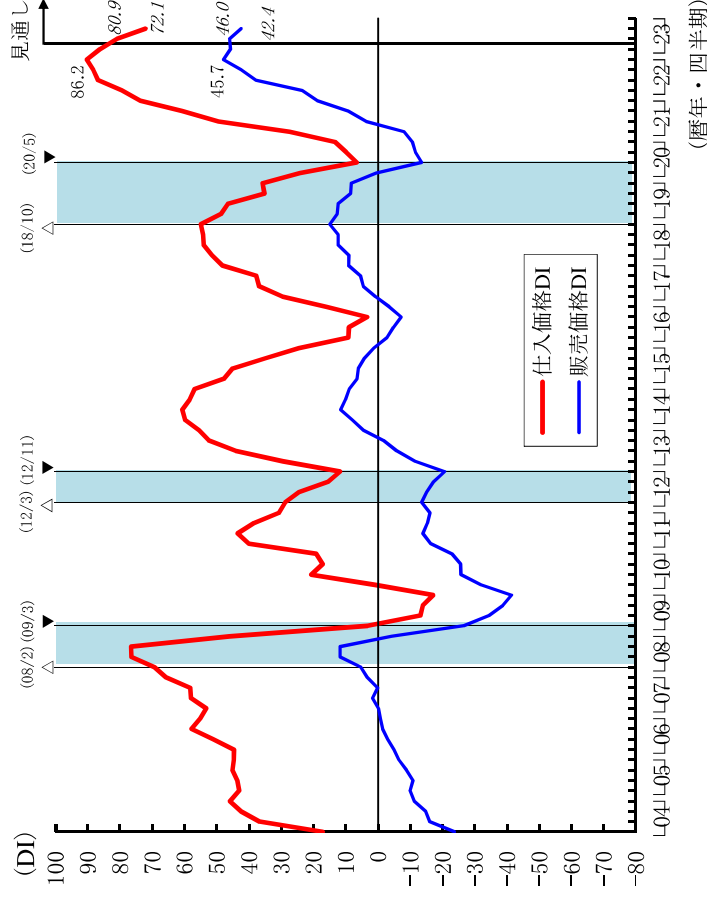
- 今期の販売価格DIは、前期から2.2ポイント低下し、45.7となった。仕入価格DIは前期から4.1ポイント低下し、86.2となった。来期の販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から上昇した。長期借入難易DIと短期借入難易DIはともに前期から低下した。

図一6 価格関連DIの推移 (原数値)

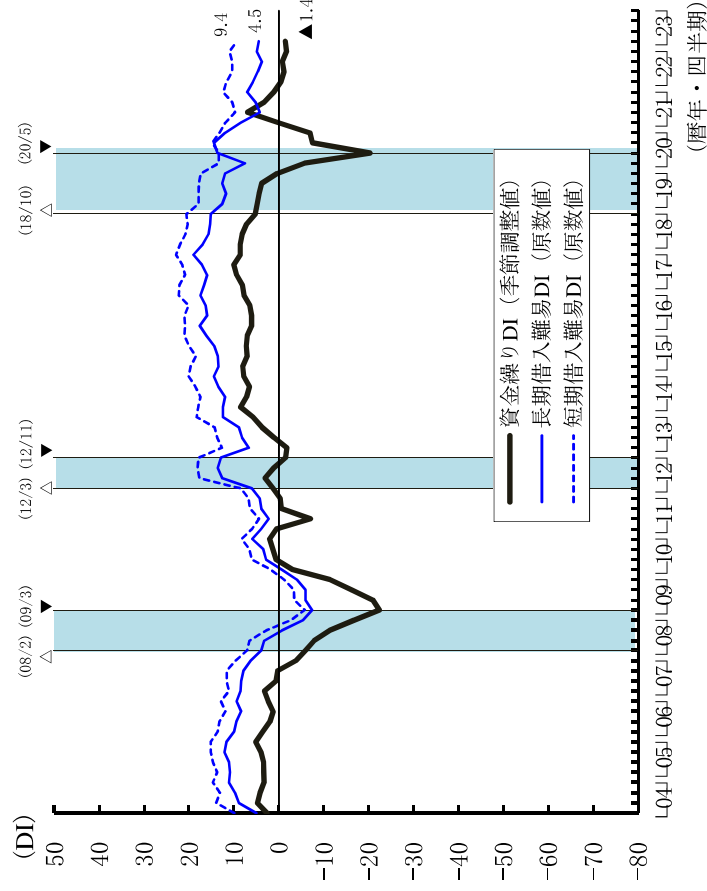
	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9
販売価格DI	23.5	37.9	42.3	47.9	45.7	46.0	42.4
仕入価格DI	79.4	86.8	88.3	90.3	86.2	80.9	72.1

図一7 金融関連DIの推移

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
資金繰りDI (季節調整値)	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 1.7	▲ 1.4
長期借入難易DI (原数値)	5.8	4.7	3.8	4.9	4.5
短期借入難易DI (原数値)	11.7	10.4	10.4	11.0	9.4



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合「低下」企業割合 (原数値)。
2 図中の数字は今期実績および見通し (斜体) の値を示す。



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合「悪化」企業割合 (季節調整値)。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合「困難」企業割合 (原数値)。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

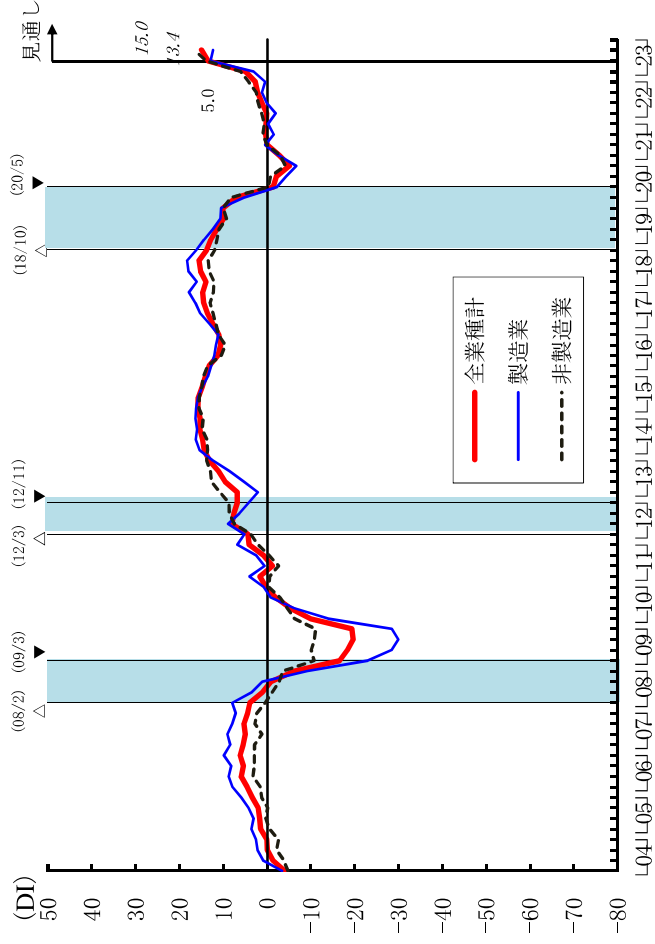
- 今期の従業員DIは、前期から2.3ポイント上昇し、5.0となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.1ポイント上昇し、35.6%となった。

図一8 従業員DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9
全業種計	0.1	1.2	2.2	2.7	5.0	13.4	15.0
製造業	▲1.9	0.1	1.2	0.5	3.1	13.0	12.3
非製造業	1.3	2.1	2.5	4.3	6.1	13.9	16.6

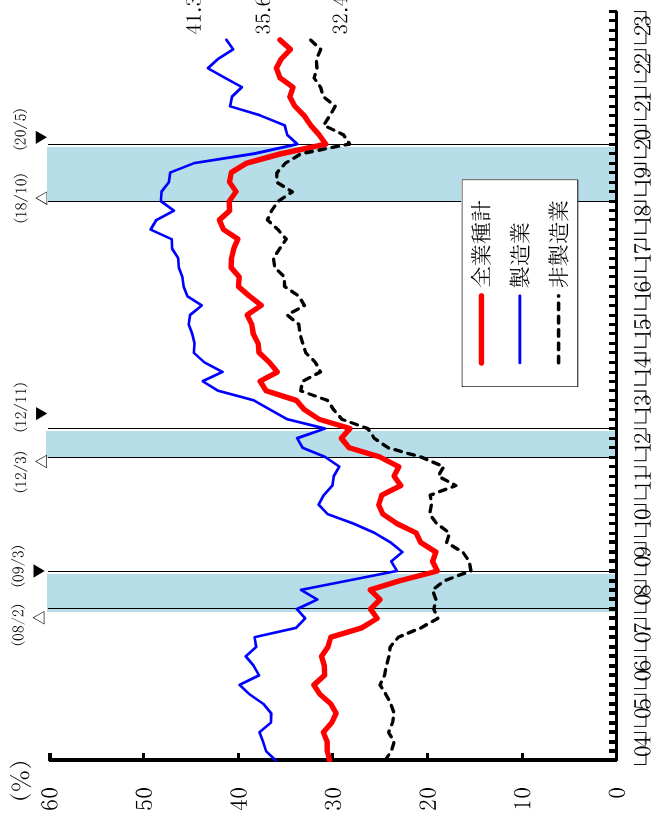
図一9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
全業種計	35.6	36.0	35.5	34.5	35.6
製造業	41.4	43.2	42.1	40.5	41.3
非製造業	32.0	31.7	31.8	31.3	32.4



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合ー「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

(暦年・四半期)



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

(暦年・四半期)

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「原材料高」が31.6%と最も多く、「売上・受注の停滞、減少」(25.6%)、「求人難」(23.5%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は2.4ポイント上昇した。「原材料高」は2.4ポイント低下した。

図一10 経営上の問題点の推移

